

商品名 ドパストン静注25mg 医薬品基本情報

薬効	1164 レボドパ製剤	一般名	レボドパ注射液
英名	Dopaston	剤型	注射液
薬価	193.00	規格	0.25% 10mL 1管
メーカー	大原薬品	毒劇区分	

ドパストン静注25mgの効能・効果

パーキンソン病、パーキンソン症候群

ドパストン静注25mgの使用制限等

1. 閉塞隅角緑内障、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 閉塞隅角緑内障又はその恐れ・疑い、胃潰瘍又はその既往、十二指腸潰瘍又はその既往、糖尿病、気管支喘息、重篤な心疾患、内分泌系疾患、重篤な肺疾患、慢性開放隅角緑内障、自殺傾向、精神症状、腎機能障害、肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ドパストン静注25mgの副作用等

1. 悪性症候群、高熱、意識障害、高度筋硬直、不随意運動、ショック状態、錯乱、抑うつ、溶血性貧血、血小板減少、突発的睡眠、急激な眼圧上昇、閉塞隅角緑内障、霧視、眼痛、充血、頭痛、嘔気	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 幻覚	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
3. AST上昇、ALT上昇	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
4. 見当識障害、味覚異常、病的賭博、病的性欲亢進、ドパミン調節障害症候群、便秘、唾液分泌過多、胸やけ、排尿異常、白血球減少、貧血、過敏症、発疹、不整脈、視覚異常、浮腫、嘔声、発汗、筋肉痛、脱毛、唾液の変色、痰の変色、口腔内粘膜の変色、尿の変色、便の変色、唾液の黒色変色、痰の黒色変色、口腔内粘膜の黒色変色、尿の黒色変色、便の黒色変色	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明

5. 不随意運動、頭痛、頭重感、不眠、妄想、興奮、傾眠、めまい、倦怠感、嘔気、嘔吐、食欲不振、口渇、下痢、血圧低下、血圧上昇、心悸亢進、耳鳴、熱感、汗の変色、汗の黒色変色	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
6. 溶血性貧血、血小板減少	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
7. wearing off現象、up and down現象、on and off現象、病的賭博、持続的にギャンブルを繰り返す状態、病的性欲亢進、強迫性購買、暴食、衝動制御障害、ドパミン調節障害症候群、初期発生への影響、胎仔毒性、乳汁分泌抑制、不安、不眠、幻覚、血圧低下、異常な不随意運動、混乱、嘔気、嘔吐、不整脈、悪性黒色腫	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

ドパストン静注25mgの相互作用

1. 薬剤名等：レセルピン製剤	発現事象	脳内ドパミンが減少し本剤の作用が減弱	投与条件	-
	理由・原因	脳内のドパミンを減少させてパーキンソン症状を悪化	指示	注意
2. 薬剤名等：テトラベナジン	発現事象	脳内ドパミンが減少し本剤の作用が減弱	投与条件	-
	理由・原因	脳内のドパミンを減少させてパーキンソン症状を悪化	指示	注意
3. 薬剤名等：血圧降下剤	発現事象	作用を増強	投与条件	-
	理由・原因	レボドパに血圧降下作用がある	指示	注意
4. 薬剤名等：フェノチアジン系薬剤	発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
	理由・原因	これらの薬剤によりドパミン受容体が遮断	指示	注意
5. 薬剤名等：ブチロフェノン系薬剤	発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
	理由・原因	これらの薬剤によりドパミン受容体が遮断	指示	注意
6. 薬剤名等：全身麻酔剤	発現事象	不整脈	投与条件	-
	理由・原因	ハロタン等は交感神経の α 、 β レセプターの感受性を高め、一方、レボドパとの併用ではレボドパから転換したドパミンが α 、 β レセプターに作用	指示	注意

7. 薬剤名等：ピリドキシン

発現事象	本剤の作用が減弱、末梢での本剤の脱炭酸化を促進	投与条件	-
理由・原因	ピリドキシンはレボドパ脱炭酸酵素の補酵素であり、併用によりレボドパの末梢での脱炭酸化を促進し、レボドパの脳内作用部位への到達量を減少	指示	注意

8. 薬剤名等：抗パーキンソン剤

発現事象	精神神経系の副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	レボドパの効果増加につながるが、同時に精神神経系の副作用が増強	指示	注意

9. 薬剤名等：NMDA受容体拮抗剤

発現事象	本剤の作用を増強	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤により、ドパミン遊離が促進	指示	注意

10. 薬剤名等：パパベリン塩酸塩

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	パパベリン塩酸塩が線条体にあるドパミンレセプターをブロック	指示	注意

11. 薬剤名等：鉄剤

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	キレートを形成し、本剤の吸収が減少	指示	注意

12. 薬剤名等：イソニアジド

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	イソニアジドによりドパ脱炭酸酵素が阻害	指示	注意

ドパストン静注25mgの配合変化

1. 薬剤名等：アルカリ性注射剤

発現事象	着色＜褐色～黒色＞、分解	投与条件	-
理由・原因	-	指示	禁止



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.